

**平成28年度 河川砂防技術研究開発公募 流域計画・流域管理課題分野
新規課題 研究開発テーマ**

テーマ名および概要		研究代表者名
テーマ	産官学民協働の水害に強い街づくりのためのリスクコミュニケーション手法の構築	山梨大学 大学院 鈴木 猛康
概要	BECAUSEモデルを甲府市大里町の水害に強い街づくりに適用し、リスクコミュニケーション手法として体系化を図る。	
テーマ	気候変化下における最大クラス洪水推定と水害リスク変容評価	金沢大学 谷口 健司
概要	温暖化予測結果を活用した数値実験により将来の降水特性、河川流出及び浸水氾濫域の変化を推定し、それらに基づく水害リスク変化や経済的影響等の評価を行う。	
テーマ	堤防脆弱性タイムラインと破堤氾濫予測に基づいた堤防強化対策及び氾濫危機管理技術に関する研究	中央大学 田端 幸輔
概要	破堤氾濫被害が生じた流域を対象に河川堤防の脆弱性と流域氾濫特性を評価し、今後の堤防強化・流域氾濫対策のあり方を検討する。	
テーマ	不確実性下における高潮浸水リスク適応政策の経済評価	熊本大学 藤見 俊夫
概要	高潮災害に対する適応政策の経済評価において、高潮リスク予測の不確実性を考慮した評価手法を構築する。	
テーマ	超過洪水にも適応できる次世代防災都市へのコンパクト化・スマートシュリンク化に関する研究	福岡大学 村上 哲
概要	超過洪水にも適応できる次世代防災都市へのコンパクト化・スマートシュリンク化に関する研究を鬼怒川・小貝川沿岸の常総市を対象として実践する。	

(五十音順, 敬称略)